

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	大日本印刷株式会社	事業所名	久喜工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	委託選定に際しISO14001他の取得状況を考慮			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	計画書及び実績報告の提出状況を確認			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認						
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	社内物流システムで、トンキロ法により排出量を把握			○	○	○
( )							
04	積載率の向上	自動化設備による製品梱包の統一化を継続管理			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						
04	積載率の向上	各車種の積載量、及び輸送量の把握・管理を徹底し、発送効率の向上を実施			○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注						
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	混載便利用による積載率の向上、および輸送回数の削減を実施 また、帰り荷の配送管理を実施			○	○	○
(01)	混載便利用の取組						

## 自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	低年式車から高年式低燃費車両への代替の推奨 デジタルタコグラフの装着やアイドリングストップ等の省エネ運行の励行	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	委託事業者に対し、使用車両・燃費等の報告を求める。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	委託事業者に対し、エコドライブ活動の実施状況の報告を求める。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	生産と連動したシステムを活用し、事前に配送計画を立てる。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	生産と連動したシステムにより、輸送量を把握・管理し積載効率を向上	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減	生産と連動したシステムにより、発注・配送計画・配送時間の管理を徹底	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	グループ内物流会社による、生産計画と連動した配送の効率化を図る。	○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	品目による生産拠点の見直しを図る事で、工事間の輸送を削減していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ( )	社内生産システムと物流会社のシステムは一体化されている為、活用する事で効率化を図っていく。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ( )	構内に荷捌き場、待機駐車場所を確保しているため、維持管理を徹底	○	○	○

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	大日本印刷株式会社		事業所名	鶴瀬工場			
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	委託選定に際しISO14001他の取得状況を考慮			○	○	○	
01 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認	計画書及び実績報告の提出状況を確認			○	○	○	
03 物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( )	社内物流システムで、トンキロ法により排出量を把握			○	○	○	

# 自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 ----- ( 01 ) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	自動化設備による製品梱包の統一化を継続管理	○	○	○
04 積載率の向上 ----- ( 03 ) 輸送量に応じた適正車種での発注	各車種の積載量、及び輸送量の把握・管理を徹底し、発送効率の向上を実施	○	○	○
05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 ----- ( 01 ) 混載便利用の取組	混載便利用による積載率の向上、および輸送回数の削減を実施 また、帰り荷の配送管理を実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- ( 01 ) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	低年式車から高年式低燃費車両への代替の推奨 デジタルタコグラフの装着やアイドリングストップ等の省エネ運行の励行	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	委託事業者に対し、使用車両・燃費等の報告を求める。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 ----- ( 03 ) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	委託事業者に対し、エコドライブ活動の実施状況の報告を求める。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	生産と連動したシステムを活用し、事前に配送計画を立てる。	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 02 ) 多頻度少量輸送の見直し	生産と連動したシステムにより、輸送量を把握・管理し積載効率を向上	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 ----- ( 04 ) 輸送トラックの待ち時間の削減	生産と連動したシステムにより、発注・配送計画・配送時間の管理を徹底	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 01 ) サードパーティーロジスティクスの活用	グループ内物流会社による、生産計画と連動した配送の効率化を図る。	○	○	○
08 物流の効率化 ----- ( 03 ) 輸送距離及び回数を削減する取組	品目による生産拠点の見直しを図る事で、工場間の輸送を削減していく。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ----- ( )	社内生産システムと物流会社のシステムは一体化されている為、活用する事で効率化を図っていく。	○	○	○
10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ----- ( )	構内に荷捌き場、待機駐車場所を確保しているため、維持管理を徹底	○	○	○